

2015年度 「凜々子賞」 受賞校の紹介

カゴメは「凜々子」の苗プレゼントの成果を収集する目的で、毎年「『凜々子』食育実践レポート」を募集しています。お寄せいただいたレポートには、子どもたちの気づきや学び、また、ご指導にあられた先生方のお知恵や工夫など、たくさんの貴重な情報がつまっています。これらが、当活動の原動力となっており、優秀実践校の取組みを広く紹介することで、わくわくするような食育の輪が広がっていくと考えております。

テーマ

全校のみんなを “凜々子のお菓子”で 笑顔にしたい

北海道
札幌市立
手稲東小学校
2～6年生(特別支援
学級) 11名



左から、北本 涼子先生、
国安 秀樹先生、鈴木 智法先生、
パティスリー YOSHI
小松 良考さん、
大杉 悠紀美さん

活動の ねらい

- 野菜を育てることの苦労と楽しさを知り、観察で理科学習、肥料や水の量をはかることで算数の学習に関連づける
- 育てた「凜々子」のお菓子を配布することで働くことの楽しさを学ぶ

わが校の特別支援学級「すみれ学級」では「凜々子」の栽培だけでなく、地域のケーキショップに協力をおき、子どもたちに「働くことの楽しさ」を実感させる取組みにチャレンジしました。栽培では苦労した尻腐れ症の対応を通して、あきらめずに世話をすることの大切さを学び、結果的には2600個もの「凜々子」を収穫しました。その後、地域のケーキショップに「凜々子」を使ったお菓子の製作を依頼。できあがった「凜々子ジャムパイ」を全校児童・家庭・教諭に子どもたち自らが配布し、「働くこと」は多くの人を笑顔にすることを実感できました。

活動ハイライト



「凜々子ジャムパイ」のラベルシールのデザインもみんなで考えた。



収穫した「凜々子」をお菓子に加工してもらったため、近隣のケーキショップへ持ち込んだ。

テーマ

「りりこ」との出会いが、 活動の広がりを 生み出した！

大阪府
柏原市立
国分幼稚園
4・5歳児 / 75名



左から
木下 佳子教諭、
保田 律子園長

活動の ねらい

- トマトの栽培を通じ、愛情や思いやりの気持ちを育てる
- 親子で栽培活動に取組み、「食」に対する意識を高める

保護者も参加することで「育ち」のすばらしさを体感してもらうことと、「凜々子トマトジュース」作りを通じて、地域との関わりを深め、食育につなげることを目標に取組みました。親子で定植し、夏休みには保護者が日替わりで水やりや収穫を行うなど、家庭を巻き込んだ栽培活動を実施しました。トマトジュース作りは奈良市の農産加工センターに依頼。子どもたちが名前やラベル、PR方法などを考えて作り、地域の方を招いた保護者参観で提供し、大好評でした。「凜々子」との出会いが、さまざまな体験と子どもたちのすばらしいパワーを引き出した取組みとなりました。

活動ハイライト



「凜々子委員会」を組織し、ジュースの名前やラベルなどをみんなで話し合っただけで決めた。



園児が自分でトマトの数を数えられるように「凜々子カウンター」を先生たちが手作りした。

「凜々子」 食育実践レポート 募集要項

応募資格

「凜々子」の苗の栽培・調理活動に取り組んだ学校・園の教職員の方

応募方法

30ページの応募用紙に必要事項をご記入の上、下記までお送りください。

〒104-8691
日本郵便株式会社 晴海郵便局
郵便私書箱 第201号
「凜々子」食育実践レポート 係

※応募用紙のデータ (Microsoft Word) は、ウェブサイト
<http://www.kagome.co.jp/tomato-nae/youkou>
からダウンロードできます。

※応募用紙および同封いただいた資料や作品は返却いたしません。

子どもたちの絵日記や作文などの作品は、必ずコピーをお送りください。

※応募事例の著作権は、カゴメ株式会社に帰属します。

応募締切

2016年12月2日(金) 消印有効

選考基準

- 子どもたちが積極的に調理活動に取り組み、食への興味・関心を高める内容であること。
- 他校の参考となり、活用できる内容であること。

賞

今年度の優秀実践事例として選出された学校・園には、「凜々子賞」として賞状および賞金5万円を進呈いたします。

2015年度は、応募総数150通の中から、以下に掲載する3校を優秀実践事例「凜々子賞」として選出いたしました。各校・園の詳しい実践レポートは、ウェブサイト (<http://www.kagome.co.jp/tomato-nae/report.html>) で公開しています。ぜひ、ご一読ください。

テーマ

おいしい野菜を 育てよう

千葉県
我孫子市立
湖北台東小学校
3年生 / 51名



左から
大村 孟史先生、
鈴木 順子先生、
五十嵐 直美栄養教諭

活動の ねらい

- 食べ物を大切にし、生産などに関わる人々への感謝の心を育む
- 発表会などを通じて栽培活動を振り返り、喜びや苦勞を共有することで食に対する感謝の気持ちをもつ

「凜々子」の栽培を通して、「野菜の生産に関わる人々への感謝の心を育む」自分たちが食しているものは、動植物の命をいただいているということに気づくことを目標に取り組みました。害虫や害鳥、病気から「凜々子」を守るための道具を手作りし、「トマトを守る大作戦」を行いました。収穫したトマトでピザを作りました。収穫したトマトでピザを作り、ピザパーティーを開き、栽培でお世話になった方を招待しました。感謝の気持ちを歌で伝え、収穫の喜びを共有しました。11月には、「トマトフェスティバル」を開催し、トマトについて学んだことを掲示物や替え歌などで伝えました。1年を通して充実した活動となりました。

活動ハイライト



トマト嫌いだっただ児童も「自分で育てたトマトはおいしい!」とトマト嫌いを克服した。



苗はプランターに植え、生長の変化が見つけやすいよう、児童が毎日通るところに設置した。